

令和1年度・2年度 経営発達支援計画

事業評価報告書

たつの市商工会

【評価方法について】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び、それに伴う各委員の職務執行状況等を考慮し、事前に各委員に評価書を送付の上評価及びコメントをいただき、その結果を踏まえ委員長に総括評価をいただく。

【事業評価委員会】

開催日時：令和3年4月27日（火）18:00

開催場所：たつの市商工会館

出席者：評価委員長 荒木慎吾氏

たつの市商工会 事務局長 清原寿彦

事務局次長 橋本 徹

経営支援課長 廣瀬敦史

同 平井克弥

【事業評価委員】

中小企業診断士 荒木慎吾氏（委員長）

たつの市 商工振興課長

日本政策金融公庫 姫路支店長

播州信用金庫 揖保川支店長

【評価及びコメント欄】

評価	コメント
委員① 評価	委員① コメント
委員② 評価	委員② コメント
委員③ 評価	委員③ コメント
委員長 評価	委員長 総括コメント

・評価欄は、評価の目安を参考にして5段階で評価

【評価の目安】

A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69%

D：達成率 1～39% E：達成率 0%

・コメント欄は、各事業に関する評価を目標、実績、その他の状況を加味して記載

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

【実施した事業の内容】

地域景況調査の実態調査や各指標により収集したデータを独自の様式に整理し、分析結果を商工会報やホームページに掲載する他、会員事業所への巡回訪問時等で提供した。

- ・ 調査対象期間：1～3 月期、4～6 月期、7～9 月期、10～12 月期／年 4 回
- ・ 調査方法：全国商工会連合会小規模景気動向調査
兵庫県経済雇用情勢
西播磨県民局地域経済動向調査
たつの市商工会職員による会員への調査
- ・ 公表方法：ウェブページ、会報等

【補足説明】

商工会員事業所の調査対象事業所は、令和 1 年度は平均 30 社であったが、令和 2 年度より 50 社に増やし、たつの市事業所の D I 値の精度向上を図った。

【目標及び実績】（網掛け部分は評価対象外）

項 目	平成 30 年度		令和 1 年度		令和 2 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
分析回数	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回
ウェブページによる 分析結果の公開	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回
会報等による調査結果の報告	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回

【委員の評価・コメント】

評価	コ メ ン ト
B	目標については達成できている。地域を巡回され、きめ細やかな訪問調査を実施されていることに敬意を表します。調査対象事業者を 50 社に増やすことで、データの精度も高まると思いますので、今後も継続して増やしてもらいたい。今後は、収集したデータの活用方法について検討し、会報等で公表してもらいたい。
A	目標どおりの実績であり、しっかり取組んでいる。調査対象社数を増やすことにより、より精度の高い調査となっている。今後は数値の分析の

	みでなく、個別事業者の良好取組事例等もアンケートで収集し、還元することにより事業計画策定に活用してもらいたい。
A	目標どおり取り組んでいる。可能であれば更に対象事業所数の増加を希望する。
A	目標を達成されており、調査対象件数も増加出来ていることから、十分な実績が確認出来る。

2. 経営状況の分析に関すること

【実施した事業の内容】

- (1) 小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金等の申請、融資の斡旋、記帳指導など日々の業務を通じて分析対象者の掘り起こしを行った。
- (2) セミナー（創業・第2創業）個別相談（事業計画作成、事業承継）を実施。
- (3) 実施した経営分析（下表の経営分析件数と一致）

分析内容・項目	平成30年度	令和1年度	令和2年度
小規模事業者持続化補助金申請者	8件	25件	37件
ものづくり補助金申請者	3件	0件	3件
創業・第2創業補助金申請者	4件	3件	10件
日本政策金融公庫 マル経資金	10件	13件	7件
事業承継計画策定	0件	2件	2件
経営力向上計画	0件	0件	2件
先端設備等導入計画	0件	2件	1件
その他の計画	0件	4件	2件

【目標及び実績】

支援内容	平成30年度		令和1年度		令和2年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
巡回相談件数	180件	356件	200件	312件	230件	290件
窓口相談件数	70件	391件	100件	156件	120件	132件
セミナー開催回数	3回	3回	3回	5回	3回	4回
セミナー参加事業者数	35社	47社	40社	128社	40社	38社
経営分析件数	25社	26社	30社	49社	30社	64社

【補足説明】

令和2年度は小規模事業者持続化補助金の募集が、一般型、コロナ型合わせて計9回あり、申請事業所の事業計画作成の支援を行った。たつの市、兵庫県の創業補助金の申請を10件（うち採択2件）行い、それに伴い創業計画書の作成支援をした。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響による資金繰りの相談が増えたが、緊急性を要するため、日本政策金融公庫の特別貸付、金融機関の特別貸付を優先的に斡旋、紹介したため、マル経推薦に伴う経営分析件数は減少した。

【評価・コメント】

評価	コメント
A～B	コロナ禍において、巡回相談・窓口相談実績が目標を大きく上回っていることは、会員との連携や情報交換に努めていることが伺える。令和元年度のセミナー参加事業者数の急激な増加や令和2年度の経営分析件数の増加など目標値を大きく上回った補足説明がほしい。
A	目標を超える実績であり、新型コロナウイルス禍においてもしっかりと取り組んでいる。各種補助金申請等で大きな役割を果たしており、今後も事業者との接点を大切に、創業、経営改善、事業承継等への取組みを継続していただきたい。
B	今の状況化で各種セミナーを多く実施する事は難しいと思いますが、中小企業の悩みは多く、許容範囲でセミナー等は多く実施出来ればニーズはあると思います。
A	新型コロナウイルスの影響が大きい中で、目標を達成されており、十分な実績が確認できる。経営分析については、業種別審査事典を購入し、業界の課題や黒字企業の経営指標を用いた経営分析を実施されている稲美町商工会の取組みも、参考にして頂きたい。

3. 事業計画策定支援に関すること

【実施した事業の内容】

〈1〉 令和1年度

(1) 「事業計画作成セミナー」を開催

主に小規模事業者持続化補助金の申請を目指すことで、事業の強み・弱みなど自社の置かれている環境等の現状分析を行い、新たな取組をする中で利益の向上を図り持続的発展を目指す機会を提供した。

開催日：平成31年4月16日（火）
講師：中小企業診断士 荒木慎吾氏、高見啓一氏
参加人数：25名

(2) 「創業・第2創業セミナー」を開催

伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して開催。対象は創業を目指す全ての方とし、「特定創業支援事業」に基づいた内容でセミナーを実施した。たつの市創業支援事業補助金の申請に向けた様式により、事業計画の作成に取り組むことで、創業に向けての意識の向上に繋がった。

開催日	内容	講師
令和2年1月15日（水）	経営	中小企業診断士 荒木慎吾氏
1月22日（水）	財務	中小企業診断士等 高見啓一氏
1月29日（水）	販路開拓	中小企業診断士 松長由宇子氏
2月5日（水）	労務	中小企業診断士等 西永敦子氏
2月12日（水）	まとめ	中小企業診断士 杉律子氏

案内等：たつの市広報、たつの市内新聞折込により周知
参加人数：11名

(3) 事業承継セミナー及び個別相談会を開催

後継者への引継ぎが進んでおらず大きな課題となっている事業承継に関する疑問点などを解決する目的でセミナーを実施し、更に具体的な相談がある事業者に対して個別相談を実施することで対応した。

開催日：令和1年10月2日（水）
講師：公認会計士 土屋 晴行 氏
参加人数：22名（うち個別相談会2名参加）

〈2〉 令和2年度

(1) 「経営計画作成個別相談会」を開催

新型コロナウイルス感染症に伴う事業環境の変化に対応するため新たな事業に取り組む事業計画の作成を目的として実施。同時に小規模事業者持続化補助金の申請を目指すことで、自社の強み・弱みなど自社の置かれている環境等の現状分析を行い、新たな広報活動等の取組をする中で、利益の向上を図り持続的発展を目指す経営計画作成の機会を提供した。また感染防止対策に取り組む計画支援を行った。

開催日：令和2年9月9日（木）・16日（木）
講師：中小企業診断士 荒木慎吾氏、杉律子氏
参加人数：16名

(2) 「創業・第2創業セミナー」を開催

たつの市との共催事業であるため、たつの市広報配布時に全戸配布して受講者を募集したところ、例年以上の受講申込書があった。

開催日	内容	講師
令和3年1月13日（水）	経営	中小企業診断士 荒木慎吾氏
1月20日（水）	財務	中小企業診断士等 高見啓一氏
1月27日（水）	労務・人材	社会保険労務士等 西永敦子氏
2月3日（水）	販路開拓	中小企業診断士 松長由宇子氏
2月10日（水）	まとめ	中小企業診断士 杉律子氏

案内等：たつの市広報、たつの市内全戸配布、合同チラシにより周知
参加人数：19名

(3) 事業承継個別相談会を開催

後継者への引継ぎが進んでおらず大きな課題となっている事業承継に関する疑問点などを解決する目的で個別相談会を開催した。

開催日：令和3年2月25日（木）
講師：税理士 小林 雄介 氏
参加人数：4名

(4) 販路開拓計画策定については、「6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する
こと」に記載。

【補足説明】

令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、経営計画作成、事業承継については、個別相談会の形式で実施したため、目標参加事業所数を下回った。創業・第2創業セミナーについては、感染防止対策を施しながら、セミナー形式で実施した。経営計画作成個別相談会では、新型コロナウイルス感染症による事業の停滞からの脱却のための新たな取り組みや、新事業展開の相談が多かった。創業セミナーでは、農業やパン店、情報関係など多様な創業予定者が参加した。令和1年度の創業セミナーに参加した事業所を中心に、市、県の創業補助金の申請者があったが、応募者が多かったこともあり採択率は低調であった。

【目標及び実績】

支援内容	平成 30 年度		令和 1 年度		令和 2 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
事業（経営）計画作成個別相談会	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
参加事業所数	15 社	13 社	20 社	25 社	20 社	16 社
	事業計画策定件数	10 社	8 社	15 社	25 社	15 社
	経営革新計画策定	2 社	0 社	2 社	2 社	3 社
創業・第 2 創業セミナー	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
参加事業所数	10 社	12 社	10 社	11 社	10 社	19 社
	創業等計画策定	5 件	9 社	5 件	11 件	5 件
事業承継セミナー、個別相談会	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
参加事業所数	10 社	22 社	10 社	22 社	10 社	4 社
	事業承継計画策定	5 件	1 件	5 件	2 件	5 件
販路開拓計画策定	2 件	0 件	2 件	1 件	2 件	1 件

【評価・コメント】

評価	コメント
B～C	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当初の形で実施することができず、目標数値には至っていないところもあるが、創業セミナーに関しては、市の創業支援事業は商工会からの協力を得ているところであり、大変感謝している。事業計画は事業のステップアップツールとして作成するだけでなく、創業後の助言も引き続きお願いいたします。
C	令和 2 年度は新型コロナの影響で目標に達していない項目があるものの、個別の項目をみていくと、創業・第 2 創業は目標を上回っており、しっかり取り組んでいる。今後は、さらに重要となってくる経営計画や事業承継、販路開拓にかかる支援について、さらに積極的に取り組んでいただきたい。
B	コロナの状況で参加事業所の減少はやむを得ないと判断。今年度においても創業セミナーは実施して頂き支援体制は整えて頂きたい。
B	一部に、目標を下回る項目があるが、概ね達成出来ている。事業承継計画策定については、宍粟市商工会と稲美町商工会で、統一した書式を使用して、計画作成を支援している。両商工会共に、毎年概ね目標を達成出来ている為、参考にして頂きたい。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

【実施した事業の内容】

ものづくり補助金の申請、創業・持続化などの補助金申請等で事業計画を策定した小規模事業者に対しては、引き続き立案した計画事項が着実に実践されるよう支援を継続している。

特に専門的な事項に関しては、その案件に適切な専門家を派遣するなど問題点の解決や今後の計画推進についての支援を行っている。

【補足説明】

各補助金申請時に作成した事業計画書の遂行につき、伴走して支援した。必要に応じて事業計画に修正を加え、次の展開についてのアドバイスを行った。下記項目以外についても、全会員への巡回時に要望のあった個別事項につき、フォローアップを行った。

専門家派遣は、12事業所に対し、計46回実施した。

【目標及び実績】

支援内容	平成30年度		令和1年度		令和2年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
事業計画策定事業所フォローアップ	10社	8社	15社	29社	15社	25社
経営革新計画策定事業所フォローアップ	2社	1社	2社	2社	3社	2社
事業承継計画策定事業所フォローアップ	5社	1社	5社	3社	5社	2社
創業等計画策定事業所フォローアップ	5社	4社	5社	7社	5社	10社
販路開拓計画策定事業所フォローアップ	2社	0社	2社	1社	2社	0社

【評価・コメント】

評価	コメント
B～C	ほぼ目標数値は達成できているが、事業継承計画、販路開拓計画が少し物足りない気がします。事業継承の実績が3年連続、目標を下回ったことは、事業者、商工会の課題として重く受け止めていると推察されるので、セミナーのみならず個別指導にも力を注いでいただきたい。
C	令和2年度は新型コロナの影響で目標に達していない項目があるものの、個別の項目をみていくと、事業計画策定事業所フォローアップ、創業等計画策定事業所フォローアップは目標を大幅に上回っており、しっかり取り組んでいる。事業承継、販路開拓計画策定事業所フォローアップについて

	は、今後ますます重要になってくることからさらに積極的に取り組んでいただきたい。
B	ものづくり補助金等はまだまだ認知されていない部分もあり、幅広く理解頂く為にも多くの事業所に展開頂きたい。
B	概ね目標を達成出来ており、実績が確認出来る。尚、小規模事業者持続化補助金やものづくり補助金が年度を跨いで実施される為、年度内にフォローアップの件数が少なくなる傾向は、他の商工会でも見受けられる傾向である為、特に問題はない。

5. 需要動向調査に関すること

【実施した事業の内容】

〈1〉 令和1年度

- (1) 実施内容：御津町では、瀬戸内沿岸における牡蠣養殖業が盛んで、シーズンには近隣からの観光客の誘導が見込める。また、牡蠣を素材にした関連特産品も多いことから、牡蠣事業者をメインに捉え需要の開拓に取り組んだ。
- (2) 実施方法：牡蠣事業者（牡蠣販売所）が発送する牡蠣及び関連商品にアンケート用紙を封入し、消費者アンケート調査を実施した。（令和1年12月～令和2年1月）調査結果を集計・分析した上、他の事業者全体の平均も記載した報告書を作成し、各事業所にフィードバックし、自社の提供するサービスの改善や新商品の開発にお役立ていただいた。

〈2〉 令和2年度

- (1) 実施内容：会員アンケート調査（当初の予定を変更）
- (2) 実施方法：令和2年6月から7月の2か月間、会員アンケートを持参して、全会員を巡回訪問した。その際に、新型コロナウイルス感染症対策施策や商工会の経営支援についての案内、各補助金等の紹介を行った。

【補足説明】

当初の計画では、令和2年度については、御津町新舞子沿岸地域の観光、サービス業者の需要動向につき調査及び情報の提供を実施する予定であったが、令和2年3月以降新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなり、全会員の経営状況の把握とサポートの必要性が高まったため、全会員巡回による「会員アンケート」を実施した。巡回時には、新型コロナウイルス感染症対策の市、県、国の助成制度や、緊急融資制度の周知を行い、各申請のサポートを行った

【目標及び実績】

年 度	平成 30 年度		令和 1 年度		令和 2 年度	
支援する業種	室津 牡蠣養殖業者		室津 牡蠣養殖業者		全会員調査 に変更	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
支援する個社数	10 社	8 社	10 社	10 社	8 社	728 社
収集する情報件数	1000 件	219 件	1000 件	517 件	800 件	339 件

【評価・コメント】

評価	コ メ ン ト
A	令和 2 年度のアンケート調査は全会員を対象とし、巡回訪問されたことに敬意を表します。また、新型コロナウイルス感染症による経済の動向等を把握することができたことに感謝申し上げます。まだまだ、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、引き続き調査研究をお願いいたします。牡蠣醤油は大変好評であり、販路拡大やサービスの改善に期待します。
A	状況に応じてニーズにあった調査を実施しており、非常に評価できる。令和 1 年度の調査は、ターゲットを絞りアンケートを実施することにより、より具体的なニーズの把握、今後の改善等につなげることができた。令和 2 年度の調査は、新型コロナの影響を踏まえ全会員の経営状況把握、サポートを実施するための調査であり、非常に意義のある調査であった。
B	予定変更はやむ無しと判断します。方法を変更してでも実施される事は希望します。
A	地域の特性を踏まえた実績が十分に確認出来る。中播磨では、市川町商工会がゴルフクラブの返礼品に関する消費者アンケートを集計した上で、会員事業所に提供し、会員からも高い評価を得ている。その為、アンケートの集計と結果の提供方法については、他の商工会とも積極的に情報共有も進めて頂きたい。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

【実施した事業の内容】

物産展等の開催情報を商工会ウェブページで発信し、速やかに情報提供するとともに、催しの内容により事業所を選定し、個別に情報の提供を行った。

またITを活用して販路開拓に繋げる、販路開拓セミナーを開催した。

【情報提供により出展に至った展示会等】

〈1〉令和1年度

(1) 主にBtoBの販路拡大において想定される展示会等

- ① アグリフードEXPO東京／日本政策金融公庫主催
開催日：令和1年8月20日(水)・21日(木)
参加事業所：1社 (株)ささ営農
- ② 国際フロンティア産業メッセ／国際フロンティア産業メッセ2019実行委員会
開催日：令和1年9月5日(木)・6日(金)
参加者：1社 たつの市商工会が会員事業所の商品を展示
- ③ シーフードショー大阪2020／(一社)大日本水産会主催
開催日：令和2年2月19日(水)・20日(木)
参加事業所：シェルビーフーズ(株)、(株)マルト水産
- ④ アグリフードEXPO大阪／日本政策金融公庫主催
開催日：令和2年2月19日(水)・20日(木)
参加事業所：(株)ささ営農、(株)御津サンファーム

(2) 主にBtoCの販路拡大において想定される展示会等 (一部BtoB含む)

- ① たつの市食育フェスタ／たつの市・たつの市食育推進連絡会議
開催日：令和1年10月14日(日)
参加事業所：1社 作本印刷
- ② 兵庫県農林漁業祭／兵庫県民農林漁業祭実行委員会
開催日：令和1年10月19日(土)・20日(日)
参加事業所：1社 作本印刷
- ③ ニッポン全国物産展／全国商工会連合会主催
開催日：令和1年11月23日(金)・24日(土)
参加者：たつの市商工会が会員事業所の商品を宣伝
(異業種交流活性化支援事業で参加)
- ④ 第101回レザーフェア東京
開催日：令和1年12月4日(水)・5日(木)
参加者：1社、たつの市商工会が会員事業所の商品を宣伝
(異業種交流活性化支援事業で参加)

(3) ITを活用した販路拡大支援

ITを活用した情報発信に関する知識の習得とマーケティング手法を習得する機会を提供するために、IT活用セミナー（SNS徹底活用セミナー）を開催した。

またセミナー実施後のフォローアップのため、情報専門家派遣を活用し個別相談を実施した。

① キャッシュレス決済導入セミナー

開催日：令和1年6月20日（木）

講師：永田 知靖 氏（永田システムデザイン研究所）

参加人数：21名

② キャッシュレス販路拡大セミナー

開催日：令和1年10月17日（木）

講師：永田 知靖 氏（永田システムデザイン研究所）

参加人数：25名

〈2〉令和2年度

(1) 主にBtoBの販路拡大において想定される展示会等

① 国際フロンティア産業メッセ／国際フロンティア産業メッセ2020実行委員会

開催日：令和2年9月3日（木）4日（金）

参加者：1社 たつの市商工会が会員事業所の商品を展示

(2) 主にBtoCの販路拡大において想定される展示会等

開催されず

(3) ITを活用した販路拡大支援

自社の商品やサービスを、ホームページやチラシ、SNSを活用してどのように販路拡大に結び付けるか、基礎的な広報戦略の知識からブランド力の向上に繋がる販促術までのSNS活用ノウハウを学ぶ販路開拓セミナーを、「コロナに負けず売上UP」のサブタイトルを付して開催した。

・販売促進ブランディングセミナー

開催日時：令和3年1月28日（木）19：00～21：00

講師：中小企業診断士／グラフィックデザイナー 杉 律子氏

参加人数：18名

【補足説明】

令和1年度は販路拡大を支援するための物産展への出店サポートを行った。また令和

1年度には、キャッシュレス制度の普及のため、キャッシュレス導入に関するセミナーを2回開催した。

令和2年度についても、各物産展への出店を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により各物産展が軒並み中止となり、参加できなかった。

【目標及び実績】

支援内容	平成30年度		令和1年度		令和2年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
展示会等への出展支援者数 (BtoB)	3社	4社	3社	4社	4社	0社
展示会等における 商談成立件数	2件	1件	2社	1件	3件	0件
展示会等における 売上増加事業所数	2社	0件	2社	1社	3件	0件
物産展における出展支援者数 (BtoC)	2件	2件	3件	2件	4件	0件
物産展における売上金 (1社当り)	5万円	15万円	7万円	15万円	7万円	0万円
IT活用セミナー開催	1回	1回	1回	2回	1回	1回
参加事業所数	15社	22社	15社	46社	20件	18社

【評価・コメント】

評価	コメント
B	令和2年度は、コロナ禍により目標数値が達成できなかったが、これからの需要開拓としての販売機会の提供とともに今後につながる持続的な経営支援を今後も期待します。市としても、いろいろな状況を踏まえ、商工会に積極的な情報提供を行いたい。
D	令和1年度はほぼ目標どおりの実績となっているが、令和2年度は新型コロナの影響でほとんどの項目で目標に達していない。今後の販路開拓に向けた取組みについては、これまでの取組みに加え、ITを活用した開拓支援の取組み支援を行うことも検討する必要がある。
B	昨年度についてはコロナの影響で各種イベントは中止せざるを得ない状況。今年度もすぐにはいかないと思うが、実施出来る方法を考えていってほしい。
B	新型コロナウイルスの影響により、展示会の出展は出来ないが、今後はオンライン商談会への参加も検討して頂きたい。ひょうご産業活性化センターのチャレンジマーケットにオンラインで出展している会員事業所が福崎町商工会にある為、この点についても、情報共有を進めて頂きたい。

Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取り組み

1. 地域資源を活用した地域活性化事業

【実施した事業の内容】

たつの市の豊富な地域資源を活用し、地域独自の特産品を開発することにより、新たな「たつのブランド」の確立に役立て、地域の活性化を目指した。

〈1〉 令和1年度

平成29年度より取り組んでいる地域資源を活用した特産品の開発

・ナルトビエイ

エイを活用した調理品として、「唐揚げ」・「竜田揚げ」・「チャンジャ」の冷凍食品、「甘辛煮」・「炊き込みご飯の素」の缶詰といった多くの試作品が完成した。

・大根（サラホワイト）

大根の炭酸飲料である「らでいっしゅ・えーるNEXT」の試作品が完成。

・「播州室津牡蠣しょうゆ、ぽん酢」、「牡蠣クリーミーコロッケ」

当会の従来からの特産品の販路拡大に取り組んだ。

〈2〉 令和2年度

上記各特産品の開発進捗状況

・ナルトビエイ

肉……フランス料理缶詰レイ3種類が、会員事業所により令和3年1月より販売開始された

革……会員事業所により、財布等の小物品を中心に製造され、令和3年夏頃から販売開始される

・大根（サラホワイト）

「らでいっしゅ・えーるNEXT」を更に改良し、令和2年12月より、会員事業所より「ラディッシュエールpremium」として販売を開始した。

・「播州室津牡蠣しょうゆ」、「牡蠣クリーミーコロッケ」

新たなパッケージを作成するなど、販路開拓に取り組んだ。

・規格外未利用農産物、未使用魚介類を利用して有用な商品の提案

トマトの「葉」「茎」を真空乾燥機により固液分離させ、パウダー、情報水の有用性を調査した結果、トマトの成長促進剤としての試作品が完成した。ナルトビエイを減圧低温蒸留し、パウダーと情報水を抽出。パウダーにつきアミノ酸の含有からサプリとして有効であると実証された。

今後は、上記分析結果を会員事業所に引き継ぎ、商品化を目指す。

- ・マスコミ、メディア等での紹介実績
 - サンテレビ「4時キャッチ」 2月15日
 - : 瀬戸内シーレイ缶詰、エイ革製品、ラディッシュエール
 - ラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう」 2月16日:
 - : MitsuEagray、瀬戸内シーレイ缶詰
 - ラジオ関西「羽川秀樹ハッスル!これなんぼ」 2月25日
 - : MitsuEagray、瀬戸内シーレイ缶詰
 - 産経新聞掲載 2月1日: MitsuEagray、瀬戸内シーレイ缶詰
 - 神戸新聞掲載 1月9日: ラディッシュエール
 - 2月18日: MitsuEagray、瀬戸内シーレイ缶詰

【補足説明】

平成29年度から取り組んだ、エイ、大根を使用した特産品の開発は、それぞれ完成した商品につき会員事業所からの販売が開始または予定されるなど、一定の成果を上げている。

令和3年度以降は、会員事業所に承継されたそれぞれの商品の販路拡大につき、個別に支援する。

【目標及び実績】

支援内容	平成30年度		令和1年度		令和2年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
試作品の作成	2件	11件	2件	2件	2件	5件
試作品の商品化	1件	1件	1件	1件	1件	3件
販路開拓支援	2件	1件	3件	2件	3件	3件

【評価・コメント】

評価	コメント
A~B	試作品作成数も多く、今後多くのたつの市の特産品開発が期待できる事業である。今後は商品開発した後の効果的なPR方法もより一層力を入れて頑張ってもらいたい。今後も地域独自の特産品をたつのブランド商品とした開発の確立と販路拡大に期待している。
A	目標を超える実績であり、しっかり取り組んでいる。地域資源を活用した特産品の開発及び販路開拓については、令和1年度、令和2年度と順調に進んでおり、令和3年度以降は「たつのブランド」の確立・浸透、会員事業

	所への販路拡大支援をさらに推進していただきたい。
B	目標件数は達成出来ています。更に販路拡大の支援をして頂きたいと思 います。
A	目標を達成出来ており、十分な実績が確認出来る。地道に取り組みれてき た特産品開発の成果が見受けられる為、引き続き注力して頂きたい。

2. 地域イベントを活用した地域活性化事業

【実施した事業の内容】

地域資源を活用した特産品の調査及び販路開拓、地元住民の交流の場の創出や地域の
商工業者が市内外に積極的にPRする広報支援策として、地域活性化事業として「た
つの市商工産業まつり」を実施した。

〈1〉令和1年度

- ・開催日：11月24日
- ・イベント来場者数：3000人
- ・出店者：36店（地域の特産品を販売する多くの出展があった）
- ・商工会の特産品「牡蠣クリーミーコロッケ」の販売及びPRを行った

〈2〉令和2年度

「たつの市商工産業まつり」を11月23日開催の予定で計画、準備していたが、新
型コロナウイルス感染症の拡大を受け、開催することができず中止となった。

【目標及び実績】

支援内容	平成30年度		令和1年度		令和2年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
たつの市商工産業まつり						
開催回数	1回	1回	1回	1回	1回	中止
出展者数	41店	41店	41店	36店	43店	
来場者数	5,300人	4,500人	5,500人	3,000人	5,800人	
開発特産品の出品数	3品	5品	4品	1品	5品	

※開発特産品の出品数には既存特産品、試作品及び二次加工品を含む

【評価・コメント】

評価	コメント
C	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、オンライン等によるイベントに代わるものの開催も今後は検討する必要があると考えます。イベント開催時には、来場者数も多く、市内外にPRするイベントとしては非常に効果的であり、今後も継続的な開催を行うべき事業と考えられる。地域に根差した商工産業まつりであるが、今後も引き続き実施され、会員間の連携強化と地域の活性化に寄与されたい。
C	令和2年度は新型コロナの影響で開催予定のイベント（「たつの市商工産業まつり」）が開催できず、目標を達成できなかったものの、令和1年度のイベントでは、出店者36店、来場者を3,000人集めるなど、ほぼ目標は達成した。今後の情勢によるところは大きいですが、これからも地域イベントあるいは、他の手法での地域活性化への取組みを推進していただきたい。
B	昨年度の中止はやむを得ない。今年度は何とか開催出来るよう望んでいます。
C	新型コロナウイルスの影響により、中止になったことは止むを得ない。毎年、工夫を凝らしたイベントを開催されている為、コロナ禍が終息した際には、是非とも再開して頂きたい。

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

【実施した事業の内容】

〈1〉令和1年度

(1) たつの市・たつの市商工会行政連絡会議の実施（年2回）

事業の進捗状況や施策の打合せなど意見交換の場として開催。その他創業補助金の運用、小規模企業振興に関する条例の制定等の個別の問題については、その都度担当課との協議にて事業推進の連携をとりながら実施している。

- ・開催日：第1回 令和1年5月20日
第2回 令和1年12月9日

(2) マル経連絡協議会への参加

日本政策金融公庫姫路支店並びに兵庫県信用保証協会姫路支店との連絡会議に出席し、地区内の金融動向や小規模事業者の支援に向けた情報交換を実施している。

- ・開催日：第1回 令和1年9月13日

(3) 地域金融支援会議の実施

地区内金融機関（兵庫信用金庫御津・新宮支店、西兵庫信用金庫龍野支店、播州信用金庫揖保川支店、兵庫県信用組合新宮支店）と日本政策金融公庫との連絡支援会議を開催し、小規模事業者の持続的発展について情報交換を実施している。

- ・開催日：令和1年11月12日
- ・参加者：日本政策金融公庫姫路支店長 播州信用金庫姫路支店長
兵庫信用金庫御津支店長 兵庫県信用組合新宮支店長
西兵庫信用金庫新宮支店代理 たつの市商工振興課長

〈2〉令和2年度

(1) たつの市・たつの市商工会行政連絡会議の実施（年2回）

- ・開催日：第1回 新型コロナウイルス感染症の拡大により中止
第2回 令和2年12月7日

(2) マル経連絡協議会への参加

- ・開催されなかった

(3) 地域金融支援会議の実施

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止とした

【補足説明】

令和2年4月以降、新型コロナウイルス感染症対策の感染拡大を受け、マル経協議会が開催されず、地域金融支援会議も開催を見送った。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による資金繰りの相談が多く、迅速な対応を求められることから、日本政策金融公庫、保証協会（金融機関）の緊急融資制度の融資斡旋支援を積極的に行った。

また年2回開催された、たつの市との行政連絡会議やたつの市商工振興課との個別協議で、たつの市が実施する新型コロナウイルス感染症対策事業に係る協議を重ね、各施策が円滑に進むよう協力した。

【評価・コメント】

評価	コメント
C	コロナ禍で令和2年度は実施できていない。継続して情報交換をする必要があり、今後も引き続き他の支援機関との連携をとり、情報提供について積極的に実施していただきたい。
B	令和1年度においては、目標どおりに各種連絡会等が開催されている。令和2年度は新型コロナの影響で各種連絡会等の開催が中止され、目標を達成できなかったものの、個別にみても、資金繰り支援などの新型コロナへの対応、支援体制はしっかり支援機関と連携できており、評価できる。
B	昨年度の中止は仕方ないと思います。再び開催される事を希望します。
B	新型コロナウイルスの影響により、中止になったことは止むを得ないが、令和1年度のように、通常の年は十分に連携されていることが確認出来る。

2. 経営指導員等の資質向上に関する事

【実施した事業の内容】

(1) 研修による資質向上

- ① 兵庫県商工会連合会が実施する研修の受講 12名
- ② 中小企業大学校が実施する研修の受講 3名
- ③ 全国連が実施するWEB研修（eラーニング）の受講 12名

(2) OJTによる資質向上

- ① 創業支援等において、ベテラン指導員に若手職員を同席させるなど、初めて支援を行う職員に対してのサポートを行うなど支援能力の向上に努めた。

(3) 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制の構築

- ① 「経営発達支援計画推進会議」を原則月1回以上開催し支援の情報交換を行

い、支援ノウハウの共有を図る。また、研修を受講した場合は報告書を作成し、回覧情報を共有した。

・経営発達支援計画推進会議の開催回数

令和1年度：11回

令和2年度：11回

② 支援に必要なデータについては、クラウドを活用し職員間で共有することで支援体制の強化、提供する情報の向上に努めた。

【補足説明】

全職員が各自の職階層別に研修への出席が義務づけられている。令和2年度については、多くの研修がWEB研修に切り替えられたが、全職員が出席すべき研修に参加した。令和2年より職員の配置が変わったため、管理職が定期的に支所を訪問し、事業遂行状況の確認や、チェックを行った。

【評価・コメント】

評価	コメント
A～B	経営指導員等の会員事業所への経営支援にはさまざまな知識と経験が必要であり、すぐに身に付くものではないため、引き続き資質向上を図って頂きたい。今年度は職員も変わり、サポートも増え大変ではあるが、これからはIT関連の知識も経営指導員に求められているため、時代の変化に応じた研修も一層強化して頂きたい。
A	目標どおりの実績であり、しっかり取組んでいる。研修は、令和2年度からWEB研修に切り替えられたが、WEB研修だけで補いきれない部分は引き続き管理職の定期的な支所訪問などで補っていただきたい。
B	今後はWEB研修等が増えていくと思います。各機関において対応が必要です。
A	オンライン研修の活用も進められており、実績が確認出来る。令和3年度もコロナ禍が継続する見込みであり、他の商工会でもオンライン研修の受講が大幅に増加している為、引き続き継続して頂きたい。

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること(評価対象外)

経営発達支援計画に記載する事業の実施状況及び成果について、毎年度終了後に以下の方法により評価・検証を行い、見直しを実施する。

- (1) 月に一度、経営発達支援計画推進会議を開催して、支援計画の推進状況の確認と問題点と改善策を協議する。
- (2) 総務委員会による内部検討委員会において本事業の内部監査を行う。
- (3) 外部有識者による外部検討委員会において本事業の成果の評価と見直しの提示を行う。
- (4) 事業の成果・見直しの結果について商工会理事会へ報告し、決定・承認を受ける。
- (5) 事業の成果・見直しの結果を商工会のホームページで計画期間中公表する。

【総括評価・コメント】

令和1年、令和2年度の事業を総括して評価してください。

総括評価	コメント
A～B	コロナ禍の状況ではありますが、今後とも内部検討委員会、外部検討委員会等のさまざまな意見を取り込み、事業の評価及び見直しを行って頂きたい。また、見直しされた内容を記載していただくと評価もしやすい。
A	令和1年度は目標に対して計画どおり遂行されているものの、令和2年度については、新型コロナの影響により、実施できない項目も数多くあった。しかしながら、新型コロナの影響を受けた地域経済や事業者の方々に対して、その時々ニーズや状況に合わせ、工夫しながら取り組んだことは非常に評価できる。引き続き寄り添った対応をお願いします。
B	特に昨年度はコロナの影響でイベント等が開催出来ず各種セミナー等も方法を苦労された事と思います。今年度も同じ事になろうかと思いますが、色々と対策を考えて取り組んで下さい。
A	A評価とB評価の数は、各項目で概ね拮抗しているが、新型コロナウイルスの影響が大きい中で、積極的に事業を進めておられる点を考慮し、A評価とした。